

廃止措置安全評価の標準化

(3) 工事パラメータの調査

Standardization of safety assessments for decommissioning

(3) Study for Decommissioning Work Parameters

田村 明男¹, 堀川 義彦², *水越 和満², 上野 純³, 田中 健一⁴¹JANSI, ²NEL, ³GNESEC, ⁴IAE

発電用原子炉施設の廃止措置時の安全評価手法の標準化に向けて、廃止措置時の環境影響評価で用いる工事パラメータについて調査し、適切なデータを収集するための方法を検討し、工事パラメータに関する課題を明確化する。

キーワード： 廃止措置, 安全評価, 環境影響評価,

1. 緒言

廃止措置時の工事パラメータに係る調査を効率的に実施するため、電力中央研究所の報告書^[1]に付録している「廃止措置工事環境影響評価ハンドブック（第3次版）」（以下、「電中研ハンドブック」と呼ぶ。）で用いられる工事パラメータについて調査し、適切なデータを収集するための方法を検討した。

なお、ここでは環境影響評価に用いるパラメータのうち、環境への放出量を評価するためのパラメータを工事パラメータと呼び、放出量から環境影響を評価するためのパラメータを環境パラメータと呼ぶこととする。

2. 既存の環境影響評価手法における工事パラメータの調査

「電中研ハンドブック」に示されている各評価モデルにおいて用いられる工事パラメータをまとめ、各工事パラメータの設定方法を整理した。また、パラメータを設定するために必要なデータに関する情報を国内外の文献から調査した。

3. 工事パラメータの適用性調査

2. 項で調査した既存の工事パラメータの設定方法の適用の可否について検討を行い、新たなパラメータの設定方法や必要なデータについて検討を行った。

4. 結論

廃止措置時の環境影響評価で用いる工事パラメータについて調査した。工事パラメータの評価方法の適用性及び必要なデータについて検討し、工事パラメータに関する課題を明確化した。

参考文献

[1] 経済産業省 原子力安全・保安院 放射性廃棄物規制課委託、電力中央研究所 発電用原子炉廃止措置工事環境影響技術調査（環境影響評価パラメータ調査研究）報告書（平成 19 年 3 月）

Akio Tamura¹, Yshihiko Horikawa², *Kazuma Mizukoshi², Jun Ueno³, Ken-ichi Tanaka⁴

¹Japan Nuclear Safety Institute, ²Nuclear Engineering Ltd., ³Nuclear Engineering And Services Company, ⁴The Institute of Applied Energy